

夏の全道集会 IBD医療講演会のご案内

炎症性腸疾患・長期寛解の成果と 副作用を考える

炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病：IBD）が長期療養となる病気です。そのため、腸以外に起こる病状や、治療薬による副作用が気になるところです。20年位経過したクローン病患者には皮膚症状が出ているものもあります。

ここ10年使われているレミケートやヒュミユラなど生物学的製剤についても、今後起こる（注意したほうが良い）体に起こる症状は何か」などを知る機会はなかなかありません。

そこで、今回は潰瘍性大腸炎とクローン病と長く付き合う上で、知っておいたほうが良い副作用や気にすべき症状をおさらいする講演会を行います。

多くの方のご参加をお待ちします。

日時：平成29年8月6日（日）9:30～12:00

場所：かでる2.7

札幌市中央区北2西7（TEL：011-204-5100）

JR札幌駅：徒歩12分：地下鉄さっぽろ駅（10番出口）：徒歩7分

大通駅（2番出口）：徒歩9分

参加者：制限なし。特に道内の病院で治療されている患者・その家族。

参加費：無料 定員：100名

【プログラム】

受付開始 9:30

第一部（9:45～11:05）

講演 『炎症性腸疾患・長期寛解の成果と副作用を考える』

JA厚生連札幌厚生病院副院長 IBDセンター長 本谷 聡 先生

質疑 ～11:30

第二部（11:30～12:00）

ミニ報告 『継続申請について情報提供』

北海道IBD

主催：北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会（北海道IBD）

お問い合わせ先：IBD会館

TEL/FAX：011-815-9701

<http://www.hokkaido-ibd.com/>